

11 影響力係数と感応度係数

他産業に対する影響力の強い産業は、非鉄金属、鋳業。

他産業の影響を受けやすい産業は、金融・保険、対事業所サービス、商業。

影響力係数と感応度係数により本県各産業の特徴を見ると、他産業に対する影響力、他産業から受ける感応度がともに強い業種（図1の第1象限）は、パルプ・紙・木製品、非鉄金属である。

他産業に対する影響力が強く、他産業から受ける感応度が弱い業種（第2象限）は、鋳業、飲食料品、窯業・土石製品等である。

他産業に対する影響力、他産業から受ける感応度がともに弱い業種（第3象限）は、農林水産業、繊維製品、化学製品等である。

他産業に対する影響力が弱く、他産業から受ける感応度が強い業種（第4象限）は、建設、電力・ガス・熱供給、商業等である。

影響力係数

ある産業に対する需要が全産業に与える影響の度合いを示す係数で、大きいほど他産業に対する影響力が大きい。

影響力係数 = 逆行列係数表の各列和 / 逆行列係数表の列和全体の平均値

感応度係数

全産業に対する新たな需要による特定の産業の感応度を示す係数で、大きいほど他産業による感応度が大きい。

感応度係数 = 逆行列係数表の各行和 / 逆行列係数表の行和全体の平均値

表1 影響力係数と感応度係数

《第2象限》	影響力係数	感応度係数	《第1象限》	影響力係数	感応度係数
02 鋳業	1.100122	0.873556	05 パルプ・紙・木製品	1.052588	1.007346
03 飲食料品	1.017088	0.834457	10 非鉄金属	1.145544	1.084679
08 窯業・土石製品	1.016530	0.850565			
09 鉄鋼	1.043922	0.936058			
11 金属製品	1.007989	0.858193			
12 一般機械	1.008668	0.827358			
15 電子部品	1.050545	0.878263			
21 水道・廃棄物処理	1.012677	0.965841			
《第3象限》	影響力係数	感応度係数	《第4象限》	影響力係数	感応度係数
01 農林水産業	0.937277	0.911717	19 建設	0.995910	1.004289
04 繊維製品	0.996472	0.802083	20 電力・ガス・熱供給	0.981575	1.296429
06 化学製品	0.983978	0.833955	22 商業	0.937755	1.619752
07 石油・石炭製品	0.908969	0.947898	23 金融・保険	0.970925	1.952012
13 電気機械	0.995481	0.763204	25 運輸	0.957105	1.274382
14 情報・通信機器	0.997298	0.752657	26 情報通信	0.970803	1.160603
16 輸送機械	0.930291	0.769786	27 公務	0.852332	1.009260
17 精密機械	0.958968	0.754038	28 教育・研究	0.906634	1.103635
18 その他の製造工業製品	0.993484	0.997101	31 対事業所サービス	0.924174	1.889188
24 不動産	0.839960	0.950794			
29 医療・保健・社会保障・介護	0.922682	0.763815			
30 その他の公共サービス	0.930193	0.812533			
32 対個人サービス	0.973431	0.790055			

注：34部門逆行列係数表（開放型）による

